



両津小だより

両津小学校

H28.9.20

NO. 7

〒952-0014 新潟県佐渡市両津湊200-1 電話 0259-27-3642

ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール ryoutsu-es@sado.ed.jp

これからの学校教育について

校長 新発田 靖

9月9日の金北山登山。参加した全員が山頂に到着することができました。山頂で18名の保護者ボランティアの皆様と記念写真を撮りました。全員とてもよい顔でした。子供にとって、得るものが一杯の活動になりました。お家の方々のご理解・ご協力に感謝いたします。

さて、このような伝統的な教育活動をしっかりと行っていくことが大事と考えていますが、最近テレビや新聞で「これからの学校教育」がよく取り上げられています。少子化、グローバル化の進展や人工知能（AI）の飛躍的進化など、社会が加速度的に変化する中、その対応が求められ、学校教育に期待するところが大きいからだと思います。

私は、特に次の2点に注目しています。

1 社会に開かれた教育課程

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していく。
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育ていく。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。

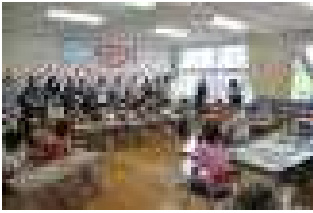
2 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」。
- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」。
- ③ 各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」。

両津小学校では、不易と流行（時代の要請に合わせた新たな取組）を意識して、皆様の意見をいただきながら教育活動を進めていきたいと思っています。

9月の両津っ子

マラソン大会に向けての「マラソンタイム」が始まりました。全校の子供たちが、自分の目標に向かって、元気よく走っています。



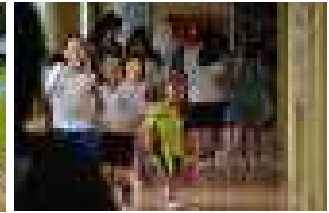
9/2 チャレンジ発表会
夏休みにがんばった作品を紹介し合いました。



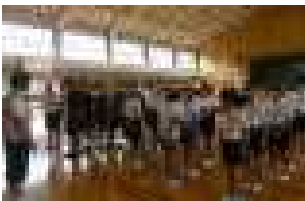
9/8 児童朝会
縦割り班の中で一番ジャンケンが強い人が先頭です。



マラソンタイム スタート!
10/4 のマラソン大会に向けて2校時終了後に実施。



9/13 全校ウォークラリー大会
総務委員会の企画。隠されたカードを探して…



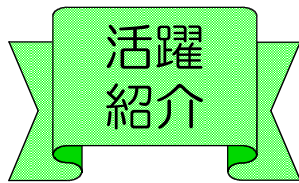
両津中学校区合同部活動体験(9/7)

両津中学校区内の6年生全員が両津中学校に集まり、中学生とともに部活動に参加しました。希望の部活に別れた子供たちは、中学生の指導を受けながら緊張の中にも充実した時間を過ごしました。

秋の野外体験活動(9/9)



白雲台では見えていた両津小学校も、登り始めると白い世界に包まれて下界は見えません。一方、青空下の学校留守番隊から見た金北山には大きな雲の帽子が…。全校が雲の中を歩く体験をしました。



《河川・海岸愛護ポスターコンクール》

優秀賞 6年
佳作 6年 6年
入賞 6年

《自然保護ポスターコンクール》 銅賞 6年

《ヒ・ティ・ヒ・アノ・ヒ・ティヨリ》 新潟地区予選入賞 2年

- 4日(火) マラソン大会(午前)
- 11日(火) マラソン大会予備日
- 15日(土) PTA奉仕作業(窓ふき)
- 21日(金) 作品展・PTAバザー準備
- 23日(日) 作品発表会・ふれあいコンサート・PTAバザー
- 24日(月) 23日の振替休業日

